

高齢者インフルエンザ予防接種について(説明書)

高齢者インフルエンザ予防接種は、予防接種法に基づく定期予防接種です。この説明書でワクチンの効果や副反応等をご理解いただいた上で、接種の判断をしてください。また、この予診票は接種できるかどうかを決めるのに大切なものですから、接種を受ける方(代筆可)が責任をもって予診票(表面)に詳細な健康状態を記載し、正しい情報を接種する医師へお伝えいただくようお願いいたします。

インフルエンザとは

インフルエンザウイルスが原因で発症します。感染者からの口や鼻から、咳、くしゃみ、会話等のときに排泄されるウイルスを含む飛沫またはエアロゾルと呼ばれる更に小さな水分を含んだ粒子を吸入したり、皮膚や粘膜の直接的な接触や、タオルや手すりを介して間接的な接触をし、その接触したウイルスが感染者の目や鼻、口に直接的に接触することにより感染します。感染した際の主な症状は、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、倦怠感、喉の痛み、咳、鼻水・鼻づまりなどで、通常の風邪と比べ全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し重症化する場合もあります。季節性インフルエンザの場合は例年12～3月に流行し、短期間で小児から高齢者まで膨大な数の人を巻き込み、特に高齢者や慢性疾患患者で死亡率が普段よりも高くなると言われています。

予防には、日頃から健康的な生活習慣を保ち、免疫力を下げないようにすることや、流行期の外出は人込みを避け、マスクを着用し、帰宅後はうがい・手洗いを励行することが重要ですが、インフルエンザワクチンを接種することで発症と重症化の予防が期待できます。

ワクチンの特徴と副反応

インフルエンザワクチンは、流行の中心となることが予測されるウイルスの株を孵化鶏卵で培養し、ワクチンとしてウイルスを不活化したものです。予防接種の効果は約5か月間持続しますが、予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに約2週間かかるため、有効性を高めるためにはインフルエンザが流行する前に接種することが必要です。また一般的に、65歳以上の方は1シーズンに1回の予防接種で効果があると言われています。

主な副反応は、注射した部分の局所症状(赤み、腫れ、痛み)、発熱、頭痛、寒気、倦怠感等がありますが、通常2～3日のうちに治ります。また、まれにワクチンに対するアレルギー反応(発疹、じんましん、赤み、かゆみ)や、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシー、ごくまれにギラン・バレー症候群、急性脳症を疑う事例も報告されていますので、接種数日以内に全身のじんましん、胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診してください。

接種を受けることができない方

- 明らかに発熱している方(37.5℃以上)
- 重い急性疾患にかかっている方
- 本ワクチンに含まれる成分で過去にアナフィラキシーを起こしたことがある方(卵等でアナフィラキシーを起こしたことがある方を含む)
- 過去にインフルエンザ予防接種を受け、接種後2日以内に発熱や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がみられた方
- その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方

接種を受ける際に医師との相談が必要な方

- 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気等の基礎疾患がある方
- 過去に受けた予防接種で、接種後2日以内に発熱や発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた方
- 過去にけいれんを起こしたことがある方
- 過去に免疫不全と診断されたことがある方、近親者に先天性免疫不全の人がいる方
- 本ワクチンに含まれる成分でアレルギーを起こす恐れのある方
- 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患のある方

接種後の注意点

- 接種後30分間は急な副反応が起こることがあります。接種した医師へ速やかに連絡をしてください。
- 接種後1週間は副反応の出現に注意しましょう。副反応の多くは接種後24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意し、接種部位の異常な反応や体調の変化を感じた場合や、高熱やけいれん等の症状が現れた場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 当日はいつもどおりの生活をして構いませんが、激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。
- 接種した部分は清潔に保ち、こすらないようにしてください。なお、当日の入浴は問題ありません。

健康被害救済制度

この予防接種による因果関係が明らかな健康被害が生じた場合は、予防接種法に基づく救済を受けることができます。ワクチンを適正に使用したにもかかわらず、発生した副反応により入院が必要な程の疾病や障害等が生じた場合は、狭山市健康被害調査委員会の調査を経た上で、健康被害の内容や程度に応じて、医療費・医療手当・障害年金・遺族年金・遺族一時金などが支給されます。気になる症状が現れた場合は、接種した医師へご相談ください。